

## 今週（5月25日から5月29日）の短期金融市場動向

### ●無担保コール市場

無担保コールO/N物については、引き続き資金調達サイドのニーズが堅調に推移し、出合いの水準は横ばいとなった。加重平均レートは、月曜日から木曜日までは0.727%となり、本日も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物に関しては、6月の金融政策決定会合を跨ぐか否かでレート水準が異なっており、6月中旬までの出合いは0.80%前後が出合いの中心となっている一方、1~3M物ではレートが大きく振れる状況で0.90~1.10%程度の出合いも見られた。

日銀当座預金残高については、週初451兆円台後半から始まり、週内に大きな増減もなく、本日は452兆円台後半での着地が見込まれている。

### ●債券レポ市場

債券レポ市場 GC T/N物の出合い水準は、0.745~0.755%出合い。28日には月末要因でオファーサイドの勢いが一時的に鈍くなる展開も見られたが、引き続き付利近辺での推移となった。

SCについては、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

### ●短国市場

短国市場は、全ゾーン横ばい圏。

29日に実施された3M物入札は無難な結果となったものの、セカンダリーでは軟調に推移した。

### ●CP市場

CP市場は、不動産、食料品、機械業など複数の業態が大型発行を実施した。

市場発行残高は24兆円台で推移した。

発行レートは引き続き0.75%以上で推移し、銘柄や期間によって投資家の運用目線にばらつきがみられた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
5/25 (月)	65,158.19	2.760	158.85	0.727	0.754	4,519,100
5/26 (火)	64,996.09	2.720	158.99	0.727	0.754	4,523,800
5/27 (水)	64,999.41	2.690	159.30	0.727	0.754	4,521,700
5/28 (木)	64,693.12	2.695	159.58	0.727	0.750	4,522,700
5/29 (金)	66,329.50	2.655	159.30	0.727	0.755	4,521,300

## 翌週（6月1日から6月5日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー （※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
6/1 (月)				5月のISM製造業景況指数 4月の米建設支出
6/2 (火)	1-3月期の法人企業統計調査(財務省 8:50) 5月のマネタリーベース(日銀 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)		10Y物 6/3発行 26,000億円	5月のユーロ圏消費者物価指数速報値
6/3 (水)	植田日銀総裁 きさらぎ会における講演 6月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)			5月のISM非製造業景況指数 4月の米製造業新規受注・出荷・在庫 米ページブック
6/4 (木)			流動性供給 交付税借入 6/5発行 6/12借入 2,500億円 11,000億円	
6/5 (金)	4月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 4月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 8:30) 5月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 4月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TDB3M 6/8発行 41,000億円		5月の米雇用統計 4月の米消費者信用残高 1-3月期のユーロ圏GDP確報値

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/1 (月) 日銀予想	500	▲ 46,800	▲ 46,300	社債等買入	▲ 100		▲ 100	▲ 46,400	TB3M発行▲44,000償還47,000 2Y発行▲28,000償還16,200
6/2 (火) 弊社予想	300	▲ 40,000	▲ 39,700				0	▲ 39,700	
6/3 (水) 弊社予想	500	▲ 30,000	▲ 29,500	成長基盤強化	▲ 3,160		▲ 3,160	▲ 32,660	10Y発行▲26,000 交付税借入▲11,000期日13,000
6/4 (木) 弊社予想	100	2,000	2,100				0	2,100	
6/5 (金) 弊社予想	500	▲ 2,000	▲ 1,500				0	▲ 1,500	流動性供給▲2,500

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な資金調達ニーズが見込まれ、概ね0.727%程度での推移が予想される。債券レポGC T/N物のレートは、0.75～0.76%のレンジで推移することが予想される。短国市場は、5日(金)に3M物の入札が予定されている。CP市場は、6月3日(水)に五・十日発行が予定されており、発行案件がどこまで膨らむか注目される。

来週の主要なイベントとして、国内では2日(火)に1-3月期の法人企業統計調査、5月のマネタリーベース、財政資金対民間収支前月実績/当月見込み、3(水)に植田日銀総裁のきさらぎ会における講演、6月の日銀当座預金増減要因見込み、5(金)に4月の全世帯家計調査、4月の毎月勤労統計調査速報、5月のマネタリーベースと日本銀行の取引、4月の景気動向指数速報などが公表予定である。海外では1(月)に5月のISM製造業景況指数、4月の米建設支出、2日(火)に5月のユーロ圏消費者物価指数速報値、3(水)に5月のISM非製造業景況指数、4月の米製造業新規受注・出荷・在庫、米ページブック、5(金)に5月の米雇用統計、4月の米消費者信用残高、1-3月期のユーロ圏GDP確報値などが公表予定である。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。